

館報



4月号

やまがた

No. 840

令和8年
(2026年)



ゆったりとした時間と空間をご提供

真野 ^{とおる} 徹さん・^{かすみ} 佳澄さん (下竹田)

カフェと、下竹田唯一のバーも営む『ミスカノーマ』を営業する真野ご夫妻。お二人が大好きな、こだわりのコーヒーでほっと一息つける場所を作りたいとの思いで開店。世界30ヶ国40種類以上のコーヒー豆を仕入れ、それぞれの豆にあった焙煎をされるそうです。ドリップされたコーヒーの香りは格別です。今後、お店で定期的にコーヒーお話し会(気軽にコーヒーの話をする会)を行っていく予定とのことです。

「常時3種類の違った特徴のコーヒーを提供しているので、お好みを選んでいただけます」と話していました。
(3月16日 ミスカノーマにて)

働姿

告知板

公民館講座のお知らせ

今年度も魅力的な公民館講座がいっぱい！
通年講座の参加者募集中！

生き生き塾

〈内容〉女性向け。月2回程開催する、概ね60歳以上の方の学び・趣味・仲間づくりの講座。
(昨年は、バスハイク、軽スポーツ、野菜収穫、歌を歌ったりしました)※5月末頃講座開始予定です。

おやじ塾

〈内容〉月1回程開催する、概ね60歳以上の男性向け講座で興味にチャレンジ。
(昨年は、上高地見学、草刈り、酒蔵巡り、麻雀などをしました)※5月末頃講座開始予定です。

古文書講座

〈内容〉村内に残された江戸時代の古文書を解説して地域の歴史を学びます。

各講座の詳細は
ホームページをご覧ください。



【お問い合わせ・お申し込み】
山形村教育委員会 ☎0263-98-3155
** 気軽にお電話ください **

公民館講座

香道を学ぼう

3月15日(日)、トレセンにて公民館講座『香道を学ぼう』が行われました。講師に百瀬文貴さん(下竹田)を迎え、9名の参加者が志野流の香道を学びました。香道とは、東山文化に端を発し江戸時代中期に完成された芸道で、香炉で香木を炷たいてその香りを楽しみます(お香を聞くという)。今回は5つの香をたき、その何番目と何番目が同じ香なのかを当てる「源氏香」という遊びをしました。



に初めて触れました。すごく良かったです。お香を聞く作法の中に、毛筆による書やお着物での所作など日本文化が詰まっています。日曜日の午前中を、こうして居住まいを正して過ごすことができ、とても新鮮でした」と話していました。

史談会 歴史講演会

木曾義仲の転戦 文献で見える猛将の一生

3月22日(日)、トレセン大ホールにて村石正行氏(長野県立歴史館文献課長、認証アーキビスト)をお招きして、山形村史談会主催の歴史講演会が開催され、約70名が聴講しました。



義仲は、平家物語、源平盛衰記などで流布する「田舎者!」「無作法者!」のイメージがありますが、文献から見ると「猛将木曾義仲は、京都に軸足を置いた軍事貴族の一人として位置付けられている」と新たな義仲像が提示されていました。



講演後の一言を百瀬博之(上竹田)さんにお聞きすると、「奈良井川が江戸時代まで木曾川と呼ばれていたことは、初めて知りました」と話してくださいました。

山すそ

ここ数ヶ月、小学校卒業時の担任が成人式で話した言葉「新聞を読み、読書することをしなさい」とに繋がる。一日30分でいいので...を思い出している

▼昭和2年ソウル生まれ、京城師範在学中に終戦を迎え半島から引き揚げ後、進駐軍占領下「篠ノ井線」で長野へ行く途中、坂が急で石炭の質が悪くて汽車が停まる。降りて列車を押し付けてくれというので、皆で押していたところ、線路沿いの米兵詰り所のだるまストーブが真つ赤に燃えていて、戦争に負けたとはこういうことかと思つたよ」と授業の中で話してくれた▼1945年以前生まれが総人口の約12%、生身の戦後を語り得る最後の節目にある今、「渋谷のスクランブル交差点をゆく15〜25歳の若者1000人にアンケート」終戦の日、4割「知らず」とネット記事に接する▼風化していく戦争を伝えることは至難のことなのだろうが、「伝えていく」他にすべが見当たらない。紹介されて半世紀弱、途中で投げ出していた藤原ていさんの『流れる星は生きています』を読ん

図書館からのお知らせ

4/23~5/12は
こどもの読書週間

おすすめがめぐる

【「どうぞの本」展開催】

絵本『どうぞのいす』柿本幸造にちなんで「どうぞの本」展を開催します。「どうぞ」の本を借りた方は、次の方へおすすめする「どうぞ」の本を1冊置いてください。

【読書マラソン2026がスタート】

山形小学校との共同企画、読書マラソンがリニューアルして始まります。

完走者には賞状と宝箱を開ける権利を差し上げます。

制限時間なし。マイペースで張り切って走ろう!!

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館より

BOOK No. 81

編集 = 山形村図書館

図書館のいま

〜令和7年度の総括

令和7年度は図書館のシステム更新で、開館日数が少なかったこともあり前年度の利用を下回りました。山形村も例にもれず少子化が進み、絵本世代の利用減少も影響しているように思います。

令和7年度の図書館は「縄文」にスポットを当ててきました。

春は「ドキドキ♡土器クッキー作り」、夏は教育委員会との和田さんを囲んで、「縄文を語ろう会」、秋は「発掘記録DVDの鑑賞会」、そして早春に勾玉

令和7年度 蔵書数 図書38,764冊 CD・DVD1,408点
利用登録者 4,746人 (村内 4,007人 村外 739人)

	令和6年度	令和7年度	前年度比
貸出冊数	38,817冊	33,713冊	87%
貸出人数	11,558人	10,178人	88%
入館者数	14,614人	12,768人	87%

ワークショップ。複合館建設計画が進む中、縄文に関心を持ってもらおうという狙いで企画しました。毎回定員満杯、大勢の方に縄文を体験していただきました。

その他にも、セカンド図書館ウッドガストープ作り、和綴じ本など、バラエティに富んだ企画を楽しんでいただきました。

令和8年度は、図書館開館15周年。10月に記念の図書館まつりを計画しています。お楽しみに。

縄文かふえ 最終回は「勾玉」ワークショップ

春休みの3月19日(木)、トレセン食堂で勾玉ワークショップを開催しました。子どもから大人まで20名の参加でした。

勾玉は縄文時代のアクセサリ、魔よけの意味があったそうです。山形村の遺跡からは対になった管玉が発掘されています。滑石という柔らかい石に勾玉の形を描き、紙やすりで削ります。

白い粉の山ができるくらい削ったら、細かいやすりで丸みをつけます。最後に水をつけたやすりで磨くと、透明感のあるなめらかな勾玉になります。



紐を通して、縄文時代のアクセサリー、勾玉ネックレスの完成。現代風にハートのネックレスにした子もいましたよ。

祝、4,000人図書館利用登録者、大台に乗る

3月14日(土)、山形村の利用登録者が4,000人の大台に乗りました。

2018年に3,000人に到達以来、8年目の快挙です。これで村民の半数近くに登録していただいたことになりました。

今回4,000人目の登録者となったのは小坂地区の柳澤和弘さんです。山形村に引っ越してこられてすぐにご家族で利用していただいていたのでした。家族だけでなく自分も!と今回登録いただきました。

4月2日(木)、図書館でセレモニーを開催し、花束と記念品をプレゼントしました。



BOOK 81 新着本

〈おすすめ新着本紹介〉

『おでかけアンソロジー ひとり旅』

阿川佐和子他(大和書房)

41人の著者が綴る、ひとり旅をテーマにした珠玉のエッセイ集。

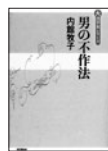
お出かけ日和の春です。本をお伴に旅しませんか?



『男の不法法』女の不法法

内館牧子(埼玉福祉会)

著者の経験や、多くの男女から聞き集めた不法法傑作選。大きな活字で読みやすい「大活字本」、喜ばれています。



『ウソ学校』

チヨンソンヒ(影書房)

世界をリードするウソつきを養成するエリート中学「ウソ学校」。4人の生徒が校長の秘密を暴こうと行動を起こします。



『みんなであいうえお』

スギヤマカナヨ(あすなる書房)

楽しく手話を学ぶ本。全3巻あり。イラストで分かりやすく解説します。手話動画が見られるQRコードもついています。



〈新着CD〉

『SHISHAMO』『モンセ』

『羊文学』『チャリー・パーカー』

他



人の動き

(敬称略)

委員(上竹田) 宮沢 栄

〃(下竹田) 平出 希恵子

〃(小学校長) 百瀬 みさ子

◆山形保育園保護者会

会長 小森わか菜

副会長 村上 絵里

会計 高橋 裕紀

書記 小林 奈津季

幹事 柏木まりな

〃 岩井 愛理

◆山形小学校PTA

会長 上條 晋平

副会長 伊藤 智恵

〃 田中 悠

会計 竹野久美子

〃 塚田有紀子

監事 桐原 貴弘

〃 本多 奈々

支部長(上大池) 中村 千香

〃(中大池) 荻上 慶

〃(小坂) 古畑 里枝

〃(下大池) 堤 大樹

〃(上竹田) 佐藤 賢治

〃(下竹田) 百瀬 郁恵

広報部長 小林 恵理佳

学級部長 笹川 彩

生活指導部長 中川 祐

教養施設部長 川上夕美子

◆小学校に迎えた先生

(松本山辺中より) 堀田 茂樹

(飯田三穂小より)

山岸 萌

(新規採用) 村田 汐里

(新規採用) 倉田 真瑚

(松本養護学校より) 宮澤 研

(塩尻檜川小中より) 上森 佳音

(松本波田中より) 斎藤 慎一

(南箕輪南部小より) 那須野 志織

(塩尻片丘小より) 富田 昭子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻片丘小より) 富田 昭子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

(塩尻宗賀小より) 水谷 貴子

◆中学校に迎えた先生

(塩尻市教育委員会より) 島津 和浩

(木曾開田中より) 徳武 美穂

(松本波田中より) 林 伸次

(松本梓川中より) 幸西 藍

(新任) 横川 俊介

(松本高綱中より) 丸山 雪慧

(須坂相森中より) 米沢 俊哉

(松本筑摩野中より) 尾和 敏行

(松本筑摩小より) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

(新任) 伊原 真帆

◆公民館編集部

部長(中大池) 荻上 慶

〃(小坂) 永田 雅寿

〃(下大池) 山口 高志

〃(下竹田) 百瀬 志帆

館報やまがた編集部員募集

新聞づくりやミニコミ誌づくりに興味のある方、ぜひお力を貸していただけるとありがたいです。未経験の方でも大歓迎です。一緒に館報やまがたをつくりませんか。

【仕事内容】記事の取材や執筆、月1回の校正企画会議を行っています。会議ではその月の号の最終校正を行い、次号の取材分担と構成を全員で決めます。
【任期】令和8年4月1日～令和10年3月31日 【報酬】167,700円/年



一緒に館報作りましょう!



佐野 向日葵 (下大池)

新編集部員紹介

今年度より編集部員としてお世話になります佐野です。取材から記事まで書くことが初めてですが、先輩方のお力を借りつつ山形村の情報を幅広くお伝えできるよう頑張ります！よろしくお願ひします

今月の声

スマートに挑戦しよう

令和8年度 山形小学校PTA会長 上條 晋平 (小坂)



地域の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より山形小学校のPTA活動に対し、ご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。

この度、令和8年度山形小学校PTA会長を務める上條晋平と申します。これまで山形小学校の活動を支えてこられた方々の気持ちを引き継ぎ、微力ですが子どもたちの健全な成長の一助となれるように活動していきたいと思っております。

さて、昨今の社会情勢の変化に伴い、小学校PTAの在り方についても転換期を迎えています。山形小学校においても、PTA役員の成り手がなく、役員選考に苦慮している状況です。そのような中ですが、PTA本来の目的である学校と家庭を結び架け橋として、子どもたちの安心安全な学校生活を支えるために、新役員の方々とスクラムを組んで一年間進んでいきたいと思っております。

今年度の取組み方として「スマートに挑戦しよう」と題させていただきます。今や生活必需品となったスマートフォンは、無いと不便ですがやり過ぎたり使い方を間違えるとズレた方向に行ってしまうものだと思います。スマートという言葉には、「スリム、高性能、賢い」などといった様々な意味があります。どの意味もスローガンに当てはまっていますが、私はスマートの意味の一つとされている「気の利いた」という言葉を当てはめています。子どもたちや子どもたちの成長を支えてくれる方々にPTAとして、気の利いた活動ができることを目指してバトンをつなげていきたいと思います。

一年間よろしくおねがいします。

公民館編集委員 退任あいさつ



清原 義雄

4年間携わらせていただいた館報編集部を退任します。取材のおかげで、多くの人と出会うことができました。ありがとうございます。

県表彰されたアクアの会

上條一則さんから「長野県の蝶の種類は全国でも最多ですね」とお聞きして、調べるうちにノーベル賞受賞者に若い頃から昆虫採集していた人が多いことを知りました。電気を通すプラスチックを発見した白川英樹さんが昆虫採集に夢中であったことは講演で聞いてはいたのですが、戦後80年特集で、戦後の山形村近代化の生き証人にお話が伺えたのは、私の宝物になりました。館報の取材を通さねば知り得なかった村の歴史を少しだけ垣間見ることができ、編集部に在籍したおかげで山形村の課題も見えてきました。

かけがえの無い4年間となりました。お世話になった方々に感謝申し上げます。



赤羽 圭介

公民館編集委員には3年間在籍し、その間、村外から移住した私にとって山形村のことを知る良い機会となりました。これまで取材のご協力いただいた関係者様に感謝申し上げます。公民館とは何か、館報とは何か。スタートはここからでした。村外の自治体では公民館事業が盛んでなかったり、館報が無くなっていたり。しかし、山形村の館報がここまで継続していることが凄いことだということも知りました。時代とともに今後の館報の行く末も気になるところです。デジタル化と反して、アナログな紙面だと手に取らなければ見られません。これは忘れてはならない所作ではないかと思えます。

最後に、編集部を経験して思うことは「館報が全村配布されていない」ことが残念でした。これまで毎月編集委員が熱を持って作成した館報は、関連な意見交換を促し、地域の潤滑剤となってきたと考えます。ぜひ館報を手にとって読んでみることから始めていただきたいです。



大岩 音寧

この度、就職のため山形村を離れることとなり、2年間携わらせていただいた館報編集部を退任することになりました。館報は幼い頃からずっと拝見しており、特に自分が参加した学校や村の行事の記事が楽しみでした。また、数年前に山形じゃんずらの若者ワーキンググループを立ち上げてからは様々な村の活動に誘っていただきました。村で地域活動をしたかったので、有言実行できてよかったと振り返って感じています。館報の記事編集や取材を通して、村の行事や人々を知ることができたのと同時に、20年以上もこの村に在住していたのに知らないことだらけだったことを痛感しました。編集委員の方々と毎月顔を合わせ、会議を行う中で、和やかに、時には熱情的に話し合えたこと、多世代を超えた繋がりができたことを光榮に思います。お世話になった全ての方々に感謝申し上げます。



バスケットボール教室

春休み公民館特別講座として、3月25日(水)トレーニングセンターで「はじめてのバスケットボール教室」が行われました。

講師は、信州ブレイブウォリアーズ3×3武井弘明選手が務



めました。ウォーミングアップ後、

ドリブルを使った様々なプログラムを行いました。

参加した桐原健瑠さん(下大池)は「バスケットの細かい技を知れたり、皆で楽しくできてよかったです」と話していました。

初心者集まれ！ 楽しい麻雀講座

3月27日(金)に、トレセンめぼえの部屋にて麻雀講座が開催されました。総勢20名ほどの参加者からはいくつかの卓にわかれ、講師の住吉研一さん(小坂)や公民館講座のおやじ塾メンバーの協力のもと、ルールを丁寧に教わりながら麻雀を実践していただきました。春休みということもあり、小学生の参加も見受けられました。また、経験者同士で卓を囲み、本格的に麻雀を楽しむ姿もみられました。



参加した小学生の上條雅治さん(中大池)は、「麻雀をするのは初めてでした。捨てる牌や取る牌で難しくなったり逆転できたりするので、考えることが多くて頭を使うゲームでした」と感想を話していました。

防災士会 定期総会

3月17日(火)、山形村防災士会定期総会がいちいの里で開催されました。昨年12月に設立された防災士会。本会では、令和8年度は「災害に対して自分で判断し行動できる人を増やす」を活動テーマに展開していくことを念頭に、地域の防災減災力向上に資する事業計画等が承認されました。

この日新入会員として紹介された小口貴美子さん(上竹田)は、「防災士の資格をまだ持っていないが、東北や能登半島の災害ボランティアを経験してきたことから、防災についてさらに学びたい」と意欲的に話していました。



あそびのひろば

春休み中の子ども達が料理や工作を楽しむ「春休み子ども広場」が3月23日(月)下大池公民館で開催されました。子ども達の居場所づくりと地域

住民の交流を目的としています。

子ども約40人とボランティア30名が集まり、竹パンとカレー作りをしました。5つのグループに分かれ、まず竹パン生地作りからスタート。約40分発酵させた生地を竹に巻き付け、炭火でじっくり焼き上げました。

発酵を待っている間にカレー作りも行い、焼けた竹パンとカレーを一緒に味わいました。

参加した林真輝さん(下竹田)は「何回も参加しているが飽きることなく楽しい。グループをまとめる立場だったのが大変だった」と話していました。



春風コンサート (鉢盛中学校合唱部)

3月15日(日)、ミラ・フールド館にて「春風コンサート」が開催されました。鉢盛中学校合唱部主催で、たんぽぽコーラス(山形村)とコーラスグループひまわり(朝日村)がゲスト参加し、16曲を披露しました。現部長の村上灯里さん(中2)・上竹田)は「やはり先輩たちは上手でした。卒業してしまふとこれまでのようにいつも一緒にいられません、会えないわけではないのでこれからも仲良くしてほしいと思います」と笑顔で話していました。



卒業・卒園 入学・入園特集

今年の新入生は、74名です。入学式ではしっかりあいさつや返事をし、元気いっぱい大きな声で「ドキドキン!一年生」を歌いました。



【入学式】4/7
74名入学



3月16日(月)に卒業証書授与式が行われました。6年生59名全員が堂々と卒業証書を受け取り、在校生や職員、保護者、地域の方々に見守られる中で「じぶんいろ」を合唱し、笑顔で山形小学校を巣立っていきました。

【卒業式】3/16
59名卒業

山形小学校

鉢盛中学校



これから始まる中学校生活を楽しくに入学してきた新入生をお迎えして、全校笑顔いっぱいいで新年度がスタートしました!

【入学式】4/7
101名入学
(うち山形村56名)



保護者のみなさん、地域の皆さん、在校生、職員、たくさんの方に温かく見守られながら中学校を巣立っていきました。

【卒業式】3/16
141名卒業
(うち山形村71名)

鉢盛中学校

新入園児がお家の方と一緒に登園し、笑顔で入園式に参加しました。



【入園式】4/3
39名入園



67名の年長児が小学校への期待を胸に卒園しました。

【卒園式】3/24
67名卒園

山形保育園

やまのこ保育園

晴れやかな青空の下、6名の入園児を迎え、はじめの会が行われました。春の歌をうたう在園児の歌声があたたかく明るい雰囲気でお会場を包みました。園玄関では河津桜が花開き、入園を祝福しているかのようでした。



【はじめの会】4/3
6名入園



6名の卒園児が自分で作った和紙の卒園証書を手に胸を張って巣立っていきました。年長の一年間、他園の年長児との交流やお泊り保育を積み重ね、自分で考え自分を信じてやり抜く気持ちの強さが育ちました。卒園児席の後ろには、物語と歌に親しみ、親子で観劇した『森は生きている』を壁面にして飾りました。クラスで話し合い、絵筆を使い作り上げた壁面はとても素敵でした。

【卒園式】3/28
6名卒園

宮中 塩小 笹
沢川 原口 町
久 房 厚
子 子 一
・ 子 子 子
79 94 86 98 78
歳 歳 歳 歳 歳
・ 小 中 小
上 小 大 下
竹 竹 池 大
田 坂 池 池
(敬称略)

お 風
く や み

大募集!!

B&G
ブルー・アンド・グリーン・ランド株式会社

**海洋センター
プール監視員**

6月27日(土)に開館予定のB&G海洋センターのプール監視員を募集します。経験の有無は問いません。一緒にプールの安全を守ってくれる方を募集します。

【内容】プールの受付、監視、清掃など
【期間】6月27日(土)~9月5日(土)
※事前に3時間程度の救命講習を実施します。
【時間】午前9時~午後5時(シフト制)
※平日のみ、休日のみ、午前・午後のみ、夏休み中のみ
などご相談ください。
【時給】1,070円
(通勤距離2km以上の場合は別途通勤手当あり)
【資格】高校生以上の方
【申込】教育委員会(☎0263-98-3155)へ
ご連絡ください。

ご入学おめでとう!

今年の新入生は、74名です。

入学式ではしっかりあいさつや返事をし、元気いっぱい大きな声で「ドキドキン!一年生」を歌いました。



1年1組

担任

わしざわ
鷺澤 香織 先生

元気いっぱいのかわいらしい1年生と出会い、ワクワクした気持ちで本年度がスタートしました。子どもたちが友だちと共に考え、学び合う楽しさを実感しながら充実した日々を過ごせるように、支援していきたいです。保護者や地域の皆様にもお世話になります。よろしくお願ひします。



1年2組

担任

山岸 萌 先生

笑顔いっぱい、すてきな1年生が入学してくれました。たくさんルールをおぼえたり、友だちと楽しく遊んだり、さっそく頑張る1年生のみなさんの姿に、私も日々元気をもらっています。元気いっぱい!やる気もいっぱい!な1年生です。ご家庭や地域の皆さまにも、あたたかく見守っていただけますと幸いです。



1年3組

担任

くさかべ
日下部 拓朗 先生

毎日笑顔であいさつしてくれる元気いっぱいの1年生との新しい生活がスタートしました。一人一人が安心して過ごし、「学校って楽しいな」と思えるような時間を、みんなでつくっていききたいと思っています。保護者や地域の皆様のお力もお借りしながら、子どもたちの成長を支えていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

山形村公民館報『館報やまがた』No.840 4月号 令和8年4月発行
編集と発行/長野県東筑摩郡山形村公民館 印刷/カシヨ株式会社

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらのQRコードから)でも見るができます→

